

九州における延べ宿泊者数

九州への入国外国人客数

過去レポートアーカイブ

九州における延べ宿泊者数

～ 2026年3月分第2次速報値 ～

九州における2026年3月の延べ宿泊者数は547万人泊（前年比96.9%）、国内居住者延べ宿泊者数は425万人泊（前年比95.7%）、外国人延べ宿泊者数は121万人泊（前年比101.3%）。

● 国内客・外国人客の延べ宿泊者数（県別）

2026年3月の九州の延べ宿泊者数は、5,466,350人泊で前年同月比96.9%となった。

このうち、国内居住者（以下、国内客）の延べ宿泊者数は4,252,320人泊で前年同月比95.7%となった。外国人の延べ宿泊数は1,214,030人泊で前年同月比101.3%となった。全国の2026年3月の延べ宿泊者数は、5,414,700人泊で前年同月比98.0%となった。このうち、国内客の延べ宿泊者数は40,133,950人泊で前年同月比98.6%、外国人の延べ宿泊者数は14,280,750人泊で前年同月比96.4%となった。

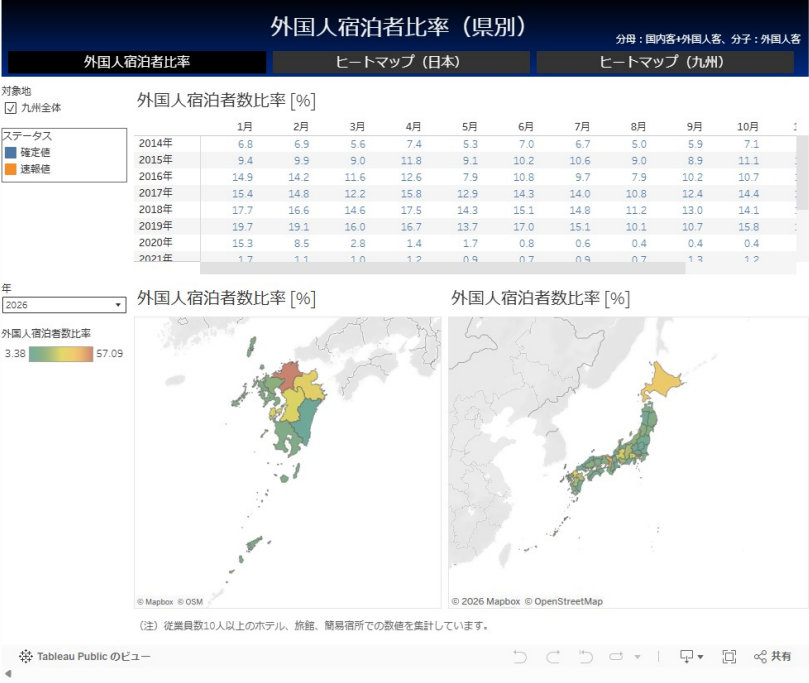
物価高や宿泊価格の上昇に伴う国内客旅行需要の抑制傾向が続いており、九州・全国ともに前年同月を下回った。一方、外国人旅行需要においては、全国が前年を下回るなか、九州は前年を上回り好調を維持している。



● 外国人宿泊者比率（県別）

2026年3月の外国人宿泊者数比率は、九州全体で22.2%となり、全国平均の26.2%を下回った。

県別を見ると、福岡県が34.8%と最も高く、次いで熊本県22.5%、大分県19.0%、佐賀県13.9、長崎県13.8%となった。一方、宮崎県6.4%、鹿児島県9.3%では、同比率が1割を下回った。



＜上記2表について＞

※スクロールして確認してください。

※表右下のダウンロードボタンよりデータのダウンロードができます。「クロス集計」をクリックし、ダウンロードするシートを選択してください。

※観光庁「宿泊旅行統計調査」第2表より一般社団法人九州観光機構にて集計

・九州全体の数値は九州7県合計となります。

・全国の数値は47都道府県の合計となります。

・年合計の数値は各月の合計となります。

※九州観光データサイトでは、延べ宿泊者数の人数を「宿泊旅行統計調査」第2表から集計しています。2024年8月までに提供していた「九州観光関連の最新統計データ（入国外国人数、延べ宿泊者数等PDF）」では従業者数10人以上の施設における延べ宿泊者数を集計していたため、数値が異なります。

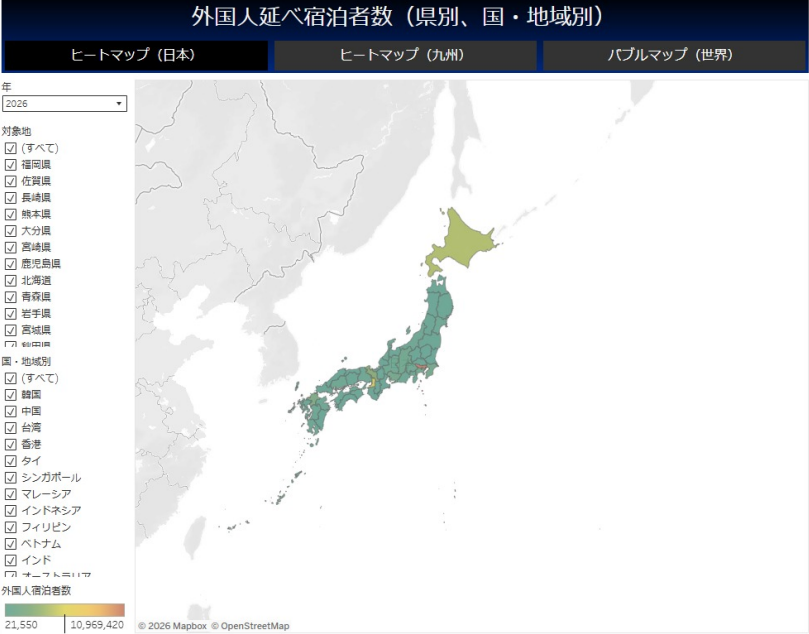
● 外国人延べ宿泊者数（県別、国・地域別） ※客室数20室以上の施設

客室数20室以上の宿泊施設における2026年3月の外国人延べ宿泊者数を見ると、韓国が373,380人泊（シェア38.3%）と最も多く、次いで台湾206,500人泊（同21.2%）、香港89,460人泊（同9.2%）、中国63,150人泊（同6.5%）となった。

国別では、前月に旧正月特需のあった韓国（前年比103.8%）と台湾（前年比106.8%）が、今月はほぼ前年並みの水準に落ち着いたものの、2カ国で全体の約6割のシェアを維持している。一方、渡航制限や大幅減便の影響が長期化している中国は、前年比54.8%と大幅に減少した。



● 外国人延べ宿泊者数（県別 / 国・地域別） ※客室数20室以上の施設



＜上記2表について＞

※スクロールして確認してください。

※表右下のダウンロードボタンよりデータのダウンロードができます。「クロス集計」をクリックし、ダウンロードするシートを選択してください。

※観光庁「宿泊旅行統計調査」参考第1表より一般社団法人九州観光機構にて集計

・各県の数値は、国・地域別の数値の合計となります。

・九州全体の数値は九州7県の合計となります。

・全国の数値は47都道府県の合計となります。

・統計の数値は各月の合計となります。

上記のため観光庁宿泊旅行統計(参考第1表)外国人延べ宿泊者数数値とは異なります。

※2025年12月までは従業者数10人以上の施設、2026年1月より客室数20室以上の施設

※「宿泊旅行統計調査」の層化基準見直しに伴い、2025年12月以前に提供していたデータ（従業者数10人以上の施設のみを対象とした集計）とは算出基準が異なるため、過去の数値と比較する際はご注意ください。

● 施設所在地別、国内客居住地別・外国人の延べ宿泊者数 ※客室数200室以上の施設

客室数200室以上の施設では、2026年3月の国内客の延べ宿泊者数の42.4%が九州地方居住者となった。次いで関東地方で27.9%、近畿地方で12.1%、中部地方5.7%、中国地方4.8%となった。

